2019年度 事業報告

社会福祉法人 横浜いのちの電話

横浜いのちの電話　　2019年度事業報告

目　次

ご挨拶	1
電話相談活動	2
研　修	2
活動報告	3
相談員数と受信件数	5
電話受信状況	6
2019 年度　資金収支計算書	9
2019 年度　貸借対照表	9
2020 年度　事業計画	10
2020 年度　資金収支予算書	11
法人組織	12
感謝録（寄付報告）	13
事業支援委員会　感謝録	15
組織図	16

はじめに

2019年度の事業活動と収支決算をここにご報告いたします。この１年間も、日本語電話相談、外国語電話相談をはじめ、いのちの電話の活動を続けることができました。多くの方々からご寄付等でお支えをいただいたり、秋の催し（劇団め組公演）にもお出で下さりご協力をいただきました。皆さまからのご支援、ご協力に、心から感謝いたします。

私ども横浜いのちの電話の日本語相談は、「いつでも、誰でも、どこからでも」という電話の即時性と匿名性を保持し、電話で寄り添うことを大切にしながら、認定されたボランティアにより年中無休24時間体制の自殺予防電話相談活動を行っております。また、中南米からの在日外国籍の方々のためのスペイン語、ポルトガル語による外国語相談も同じく認定されたボランティアにより週３日の活動を続けています。さらに心理や法律の電話による専門相談を行うとともに、「相模原市自殺予防電話相談事業」を受託し、継続実施することもできました。

これからも、社会福祉法人としての自覚と責任を担いながら、《いのちを大切にする》市民活動を続けてまいります。常に自殺予防としての電話相談の質を問い直し、「かながわ自殺対策会議」をはじめ県市町の行政機関、関係諸団体と連携、協力しながら、生きる力を信じて支え、お一人おひとりの電話に寄り添う、柔軟な自殺予防活動に取り組んでいきたいと思います。

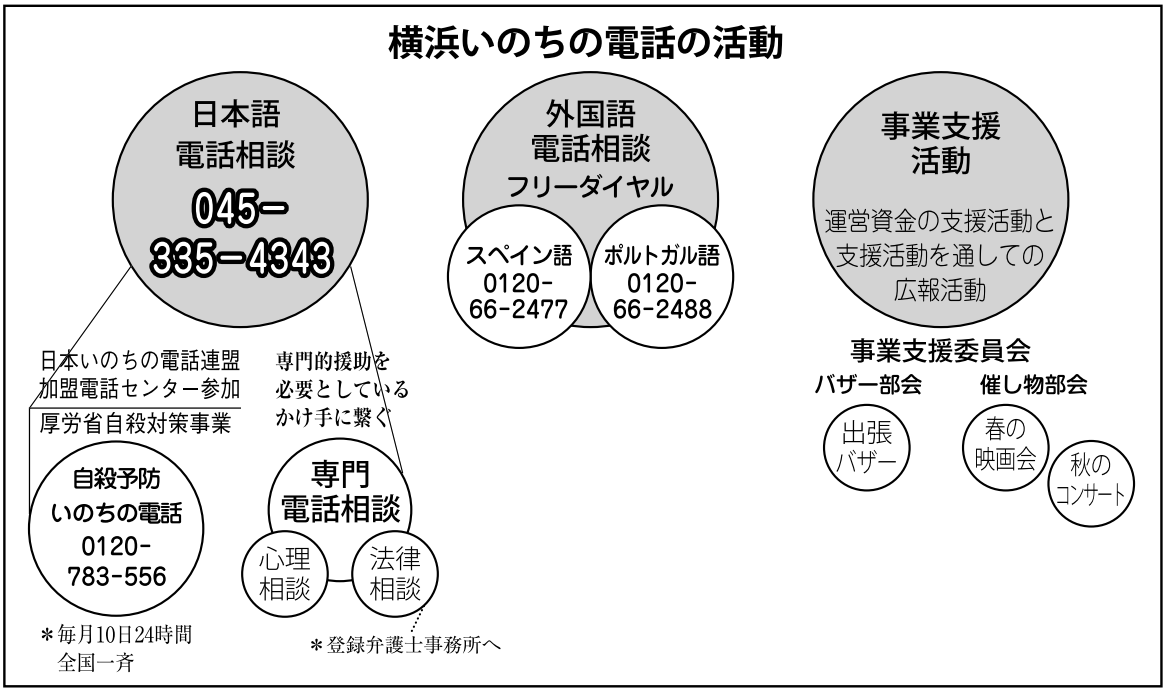
年度末には新型コロナウィルスの感染拡大等により、相談活動等を一時休止することになりました。また予定していた春の映画会も中止しました。これまで休むことなく続けてきた活動ですが、休止をとおして改めて「いのちの電話」の大切さを感じさせられました。現在、少しずつ相談活動を再開しているところです。

今年は創設40周年という節目の時を迎えます。横浜いのちの電話がこれからもより良い相談ができるように、皆様方のご支援ご協力を心からお願い申し上げます。

2020年7月

社会福祉法人 横浜いのちの電話

理事長　松橋秀之



2019年度　事業報告

電話相談活動

※統計数字は日本いのちの電話連盟にあわせて年（1月～12月）で集計しています。

日本語相談

１．一般電話相談　045-335-4343

（1）年中無休24時間体制を理念として電話相談活動を継続した。

（2）実働相談員164名（2018年168名）が原則として月2回の電話担当に入り、21,600件（2018年21,369件）の電話相談を受信した。

２．専門相談（心理･法律）

専門的援助を必要としているかけ手に対しては、一般相談から専門相談につなぎ対応した。

受信件数　心理専門相談　252件（2018年259件）　　法律相談　37件（2018年36件）

３．フリーダイヤル「自殺予防いのちの電話」　0120-783-556

（1）厚生労働省の自殺防止対策事業（自殺防止対策事業補助金交付）である「自殺予防いのちの電話」に引き続き参加し、毎月10日フリーダイヤルで相談を受けた。

（2）県及び市町村に、ポスター、カード配布等の広報活動を行った。

（3）受信件数675件（2018年708件）　うち自殺に関する件数156件（2018年205件）
担当した延べ相談員数158名（2018年192名）

外国語相談　LAL（Linea de Apoyo al Latino/Linha de Apoio aos Latinos）

一般電話の他にフリーダイヤル相談も実施している

（1）主に中南米からの外国籍県民を対象に母語（スペイン語・ポルトガル語）のメンタルヘルス相談を神奈川県と横浜市の援助により実施した。相談員の国籍は8ケ国で、担当した相談員数は48人（うち日本人10人）である（2018年は9ヶ国で、担当した相談員数は48人（うち日本人12人））受信件数1,135件（2018年1,652件）。　スペイン語481件（2018年565件）、　ポルトガル語654件（2018年1,087件）。

（2）開局（1993年9月1日）以来の受信件数は28,946件である。

研　　修

日本語電話相談

1．養成研修

（1）全国的に応募者の減少がみられる中、積極的な広報活動を実施し26名（2018年25名）の方の応募があった。

（2）「応募動機」「自分史」の応募書類を審査し、そして「面接」を行い、22名（2018年19名）の方を選考し、前期研修（4月から9月）として人間関係基礎研修（合宿含む）、ロールプレイ研修などを実施した。

（3）後期研修（10月から翌年2月）は、専門分野の講師による、「いのちの電話の成り立ち」や「精神保健」、「相談対応」などについての講義を全10回実施した。また、実習として電話インターン研修を実施した。

（4）前期研修、後期研修を通して、相談員としての適性を審査した結果、7名（2018年7名）の方を認定。
なお、応募から研修期間中に体調不良や家庭・仕事の事情等により研修が継続困難となり11名の方が辞退した。

２．継続研修

相談員は、認定された後も引き続き各種研修が義務付けられている。相談員として良き聴き手となるためには研修は必修である。

（1）初任者研修

認定された直後の相談員を対象に、1年間、月1回の研修を実施した。

（2）地区別グループ研修

相談員は15ある地区別グループのいずれかに所属することとしており、毎月1回、研修を実施した。グループは良き聴き手となるための学びを深めると共に、相談員同士の支え合いの場となっている。

（3）全体研修

相談員が幅広い知識を習得することで、より良い相談活動が出来るように、毎年、講義内容を精査し研修を企画している。今年度も「ウィリング横浜」（上大岡）において、下記のとおり2回実施した。

第1回「傾聴・肯定・相談員の自己開示の持つ現代的意義」　6月29日（土）14:00～16:00（109名参加）
講師　福島哲夫氏（大妻女子大学教授　成城カウンセリング所長　臨床心理士）

第2回「その人らしく生きる手助けをするということ～気持ち（思い）を伝える対話」
11月16日（土）14:00～16:00（91名参加）
講師　村松　清子（在宅看護研究センターLLP代表　看護師　臨床心理士）

（4）継続スーパービジョン
電話相談を熟知した7名のスーパーバイザーによるスーパービジョン（2時間）を、129名（2018年156名）に対して実施した。

3．研修担当者

（1）研修委員会
相談員養成研修、相談員継続研修など研修全般に関わる内容について、企画、提案、課題対応を行うために5回開催した。

（2）研修担当者養成研修
研修担当者を養成するために研修を企画し実施した。（研修期間3年目）
2019年度は3名の参加があり、事例研修及び自己理解・他者理解を深めるためのグループ研修を実施した。内2名が地区グループリーダーとして参加した。
2月8日（土）の面接を経て、1名を正式に研修担当者に任命した。

外国語電話相談

1．養成研修

（1）相談員養成研修はスペイン語・ポルトガル語ともに5月から12月まで24回の講義（理論・ロールプレイ）、1月から電話インターン研修を実施した。

（2）研修生16名のうち、10名（スペイン語2名、ポルトガル語8名）が認定された。国籍はブラジル6名、ペルー1名、コロンビア1名、日本人2名である。

2．継続研修

相談員継続研修では、相談員が組織の一員として活動していることへの理解を深めることを目的に、心理学のテーマに基づいたグループワークを多く実施した他、対応の難しい相談の事例検証や、対応のテクニックや心構えを振返るスーパービジョンを行いながら、相談対応の改善を図った。その他研修担当による個人またはグループでのスーパービジョンを計15回実施した。

活動報告

対外活動

（1）日本いのちの電話連盟社員総会（5月24日）・事務局長会議（5月24日）・広報委員会全国研修会（6月15日）・関東ブロック会議（7月14日）に出席した。
（2）「かながわ自殺対策会議」（7月17日）に委員として出席した。
（3）神奈川県被害者支援連絡会定期総会（6月24日）に会員として出席した。
（4）湯河原町自殺対策推進協議会（10月24日）に、委員として出席した。
（5）連盟主催、JR東日本・川崎いのちの電話と共催で9月10日、横浜駅で「自殺予防いのちの電話」のPRチラシを配布した。
（6）かながわ自殺対策会議のメンバーとして、9月10日JR横浜駅及び淵野辺駅構内で自殺防止啓発のチラシを配布した。
（7）JR東日本主催の「いのちのホットライン」電話相談に、3月16日・17日参加した。
（8）AIDS文化フォーラムin横浜の組織委員として組織委員会に出席し、8月2日～3日に開催されたフォーラムに参加した。
（9）神奈川県社会福祉士会自殺対策相談員研修（7月21日）に、講師として講義と研修を実施した。
（10）厚木保健福祉事務所主催の研修会（10月9日）に、講師として講義と研修を実施した。
（11）横浜市職員のライフプランセミナー（8月29日・31日（58歳）、9月5日・11日（50歳））で、PRパンフを配布した。
（12）神奈川県退職予定者説明会に、2月10日・12日・27日参加し、説明とPRパンフを配布した。
（13）川崎いのちの電話の事務局と情報交換を行った。
（14）在東京ブラジル総領事館市民評議会に、外国語相談LALコーディネーターが毎月参加した。ブラジル人支援NGOや領事館主催のセミナー・イベントに参加し、交流を深めた。

相談委員会

１．相談委員会定例会

相談員委員会は、相談員の継続研修を行う各地区別グループから選出された相談員委員会委員、事務局長、研修委員会の委員で構成され、原則として毎月第1土曜日　13:30～15:30　（8月は休会）開催し次の活動を行った。

（1）相談活動における連絡・報告を通じて、相談員間の情報の共有を行った。

（2）相談員として必要な基本的な心構え及び組織の一員として活動することを適宜、再確認し合った。

（3）電話相談活動におけるいろいろな課題について話し合い相談環境の向上を図った。

（4）事業支援会との連携

催し物部会の行事に参加し支援会との連携を図った。

2. 研修・行事の担当

相談員は組織の構成員でもあるため、年2回開催される相談員の全体研修及び新年会などの行事の準備・進行をそれぞれ地区別グループが担当した。

3. 「相談員のつどい」の開催

つどいは、相談員のための話合いの場として年1回開催しており、2019年度は「いま気になること　これからのYIND」をテーマにワールドカフェ方式で実施した。この主旨は、相談員は電話相談の担当と自身が属するグループでの研修が中心で、グループ外の相談員との話合いの機会が少ないこともあり、ワールドカフェ方式でいろいろな相談員と知合いになる機会を設けたものである。

話合いの内容は、共通意識として、現在の電話相談体制を今後とも維持していくためにいろいろな課題を話し合うことが必要との報告が各グループからなされた。また、参加者からは、個人としても組織の一員としても常に共通の意識を持つため、知らない仲間とのコミュニケーションの必要性を改めて感じたとの感想が多かった。

事業支援委員会

横浜いのちの電話の活動をより社会に広め、運営資金を得ることで事業を支援するために、次のような活動を実施し、法人会計へ315万円の繰り入れをした。また、このような支援活動を通して、横浜いのちの電話の支援と協力をお願いする広報活動を行った。会員数約60名。

1. バザー部会

（1）毎回20名前後の会員が月3～4回の仕事会に参加し、バザー商品を製作した。

（2）出張バザーを12会場（カトリック雪ノ下教会・日本基督教団横浜港南台教会・日本基督教団鎌倉恩寵教会・カトリック渋谷教会・公益財団法人鎌倉婦人子供会館　・カトリック二俣川教会・カトリック菊名教会・日本基督教団逗子教会・湘南YWCA・興和台団地バザー・横浜いのちの電話新年会・カトリック山手教会・その他）の協力を得て実施した。

2. 催し物部会

秋の催し「小栗忠順」

2019年9月26日（木）　18：30～20：10　　於：関内ホール

チケット売上442枚　　当日入場者411名（含招待者）

3. 財政支援部会

（1）毎月1回の例会を開催し、寄付金の増額・コンサート及び映画会の広告協賛の増加を得るべく推進方法を検討した。寄付金の増額方法として、コンサートの際にメンバー中心に募金呼びかけを行なったり、広告協賛については、部会として関係者に広告主の紹介を呼び掛けた。

（2）前項の活動の結果、新規広告で6件の増加を実現した。

（3）喫緊の課題である相談員減少問題に取り組み、横浜市職員退職者向けのライフプランセミナーでチラシを作成し、配布した。

広報委員会

広報「横浜いのちの電話」の発行　97号（5月）・98号（11月）

事業報告書の発行　（7月）

相談活動参考手引きの作成

著者有田モト子、相談活動手引き作成の会編による「ムズカシイ電話相談をどう受ける」を発行した。

ボランティア間の交流

横浜いのちの電話では、日本語相談・外国語相談・事業支援ボランティア・特別技能ボランティアが活動しており、単独または合同での場を設け、相互の交流を深めている。

(1) 外国語電話相談員総会	4月13日（土）	10：00～13：00	17名
(2) 外国語電話相談員クリスマス会	12月 7日（土）	12：00～16：00	16名
(3) 新年会	1月11日（土）	12：30～14：30	50名
(4) 日本語電話相談員の集い	2月15日（土）	13：30～17：00	51名

募金活動

横浜いのちの電話の活動のために多くの維持会員・賛助会員から寄付をいただいた。

寄付金収入合計　7,477,379円　（2018年6,815,586円）

維持会費417件（個人385件　団体 8件　法人24件）　2,405,000円（2018年2,409,000円）

一般寄付487件（個人398件　団体50件　法人39件）　5,072,379円（2018年4,406,586円）

神奈川県地域自殺対策強化交付金事業

神奈川県より200万円の神奈川県地域自殺対策強化交付金事業補助金の交付を受け、主に相談員の研修にあて、相談対応の質の向上及び改善につなげる等、自殺防止対策のために使用した。

相模原市自殺予防電話相談業務を受託（2013年度より7年間継続活動中）

(1) 相模原市は、自殺総合対策の一環として、「自殺予防電話相談業務」を実施している。一人で抱え込まず相談する中で一緒に生きる道を探す一助とし、相談者の苦悩の実態を把握することで、自殺総合対策に役立てることを目的としている。

(2) 横浜いのちの電話では相模原市から業務委託を受け、毎週日曜日（年末・年始を除く）の午後5時から午後10時まで、その相談業務を担っている。2019年度実績　47日間。

(3) 相談内容
自殺に追い込まれそうな人の相談、大切な家族等を自殺で亡くした遺族の相談、不安・孤独・絶望に悩んでいる人の相談等

活動の休止

コロナウイルスの感染拡大に伴い、3月2日以降の電話相談活動をはじめ、3月中の次の全ての活動を休止した。

(1) 電話相談活動（日本語電話相談、心理・法律の専門相談、外国語電話相談）
(2) フリーダイヤル（自殺予防いのちの電話　3月10日）
(3) 日本語研修（養成研修、スーパービジョン、グループ研修）
(4) 外国語研修（養成研修、スーパービジョン）
(5) 相模原市自殺予防電話相談受託業務（3月8・15・22・29日）
(6) 心理専門相談員との交流会（2月29日）
(7) 事業支援委員会（3月5日春の映画会さくらプラザホール「日日是好日」、バザー、交流会）

相談員数と受信件数

相談員数

日本語相談		216 名
専門相談	心理相談	15 名
	法　　律	4 名
外国語相談		48 名

受信件数

日本語相談	実相談数	21,600 件
	（うち自殺志向）	2,107 件
	（うち自殺予防フリーダイヤル）	675 件
専門相談	心理相談	252 件
	法　　律	37 件
外国語相談	スペイン語	481 件
	ポルトガル語	654 件

受信状況の推移

年度		日本語（件）	外国語（件）
2009	4~3 月	21,142	1,239
2010	4~3 月	22,067	1,429
2011	1~12 月	22,051	945
2012	1~12 月	21,526	950
2013	1~12 月	21,728	792
2014	1~12 月	21,509	1,126
2015	1~12 月	21,256	1,179
2016	1~12 月	21,306	1,306
2017	1~12 月	21,372	1,957
2018	1~12 月	21,369	1,652
2019	1~12 月	21,600	1,135

電話受信状況　相談データ

【電話相談の状況】

1. 日本語電話相談年代別・男女別受信件数（図1，表1）

2019年の受信件数は、21,600件で昨年の21,372件とほぼ同数である。相談員数は減少傾向であるが、受信件数にはほとんど影響していない。男女別では、女性（58.1%）が約６割を占めている傾向は変わりがない。年代別では男性は50代が最多で、40代、60代が増加し、女性は60代が最多で、50代、40代と続いており、昨年に比べ男女ともに年齢が高くなっている。匿名性を尊重しているため、年齢不明が４割近くとなっているが、年代がわかる受信件数12,923件のうち、10代以下（2.2%）、20代（5.7%）と若者からの相談件数が徐々に少なくなってきている一方で、40代（23.9%）、50代（27.7%）、60代（24.9%）の占める割合が高くなっている。

2. 日本語電話相談内容別受信件数（図2，表2）

内容別では、「精神」が最多（25.1%）で、人生（20.8%）、「家族（親族を含む）」（13.9%）、「対人」（10.4%）の順となっている。それぞれの内容では、「精神」は病気に関するものが、「人生」では生き方、生きがいや孤独が、「家族（親族を含む）」では不満、介護、子育てが、「対人」では、不和・トラブル、ハラスメント・いじめが多くなっている。年代別に見ると、20代から50代にかけては「精神」が最も多くなっているのに対し、10代以下は「家族」、60代以上は「人生」が最も多くなっており、若年層と高齢層での違いが見受けられる。

3. 日本語電話相談年代別受信件数と自殺志向率（図3，表3）

受信件数に対する自殺志向数は2,107件で、自殺志向率は昨年の9.9%に比べ、9.8%と若干減少している。年代別では、40代、50代、30代の順で自殺志向件数の割合が高くなっている。一方、自殺志向率では、9歳以下、40代、30代、10代の順で高くなっており、60代、50代の順で低くなっている。男女別では、男性のほうが自殺志向率はわずかに高くなっているが、年代別にみると男性が40代、70代以上が高いのに対し、女性は20代が最も高く、次いで30代、10代となっており、男女差が見受けられる。

4. 日本語電話相談内容別受信件数自殺志向率（図4，表4）

内容別の自殺志向件数は、「精神」、「人生」、「家族」の順で高くなっている。また自殺志向率は、経済（21.1%）、精神（13.9%）、人生（12.8%）の順となっており、受信件数としては少ない「経済」の自殺志向率が高くなっている。自殺志向のほとんどは自殺念慮であるが、より危険度の高い「予告・通知」の58件中「人生」が18件、「精神」が27件となっている。また、「実行中」の6件中「人生」2件、「精神」が1件となっており、これら項目は件数が多いだけでなく、危険度が高いものが多く含まれているといえる。

5. 日本語電話相談フリーダイヤル（図5，表5）

毎月10日、フリーダイヤルで全国のセンターとオンラインでつなぎ、日本全国からの電話を受けている。男性からの相談件数がやや多いのは、全国の状況と合致している。また、自殺志向率は通常ダイヤルと比べ高くなっている。女性が通常電話（9.7%）に比べ、33.9%と高くなっている。内容別でも受信件数は通常電話と同様の傾向であるが、自殺志向率では通常電話が「経済」、「精神」、「人生」の順であるのに対し、フリーダイヤルでは「夫婦」、「身体」、「家族」の順となるなど違いが見受けられる。

6. 心理専門相談（図6，表6）

心理専門相談は、一般相談からの紹介により心理的課題を継続的にケアしていくことを目的としている。一般相談からの紹介件数はやや増えたが、相談件数は昨年とほぼ同数である。内容別では「精神」が相談全体の9割近くを占めるようになった。精神の内訳としては、生き方の不安や孤独を訴える相談が増え、また「家族（親族を含む）」や対人関係へのストレスも多くを占めている。

7. 法律専門相談（図7，表7）

相談件数、内容別とも昨年度とほぼ同数で減少傾向のまま。内容別では「家族・扶養」、「離婚,」「相続・贈与」といった家族間でのトラブルが半数近くを占める。次いで「雇用・労働」、「金銭貸借」となっている。

8. 外国語相談（図8，表8）

受信件数は両言語とも減少した。ほとんどの項目で減少したが、特に「精神・保健」の項目でリピートコールが7月以降は50%減少した。内容的には、「精神・保健」「人生」が例年同様多かった。また「性的いたずら」はスペイン語では増えたが総数では減少した。

日本語電話相談 年代別・男女別受信件数

図1

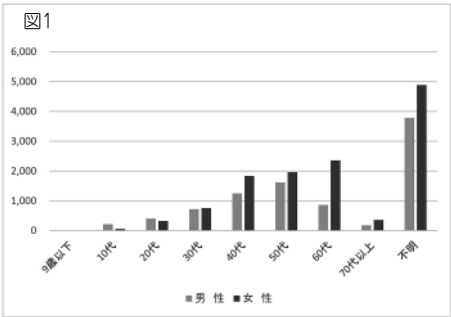


表1

年代別	男　性		女　性		合　計	
	2019年	2018年	2019年	2018年	2019年	2018年
9歳以下	1	3	1	2	2	5
10代	218	229	60	70	278	299
20代	406	412	326	433	732	845
30代	722	752	758	935	1,480	1,687
40代	1,251	1,248	1,835	1,717	3,086	2,965
50代	1,620	1,330	1,964	2,029	3,584	3,359
60代	863	694	2,358	2,664	3,221	3,358
70代以上	179	114	361	395	540	509
不明	3,788	3,269	4,889	5,073	8,677	8,342
合計	9,048	8,051	12,552	13,318	21,600	21,369

日本語電話相談 内容別受信件数

図2

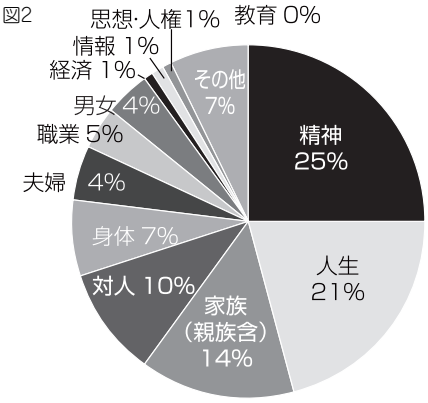


表2

	2019年	2018年	割　合
精神	5,413	5,625	25.1%
人生	4,490	4,321	20.8%
家族（親族含む）	3,007	2,872	13.9%
対人	2,255	2,089	10.4%
身体	1,564	1,641	7.2%
夫婦	852	956	3.9%
職業	973	930	4.5%
男女	837	884	3.9%
情報	188	203	0.9%
経済	285	256	1.3%
思想・人権	181	116	0.8%
教育	71	98	0.3%
その他	1,484	1,378	6.9%
合計	21,600	21,369	100.0%

日本語電話相談 年代別受信件数と自殺志向率

図3

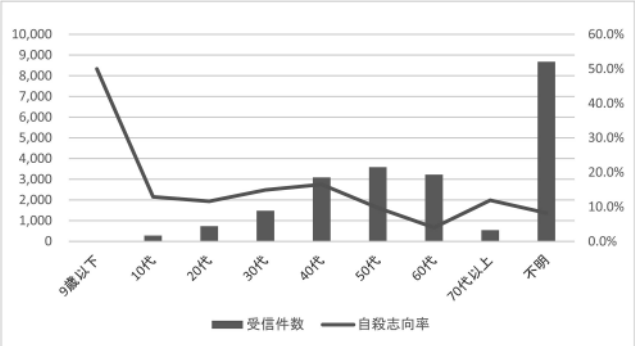


表3

年代別	受信件数	自殺志向件数	自殺志向率
9歳以下	2	1	50.0%
10代	278	36	12.9%
20代	732	85	11.6%
30代	1,480	221	14.9%
40代	3,086	509	16.5%
50代	3,584	349	9.7%
60代	3,221	130	4.0%
70代以上	540	64	11.9%
不明	8,677	712	8.2%
計	21,600	2,107	9.8%

日本語電話相談 内容別受信件数と自殺志向率

図4

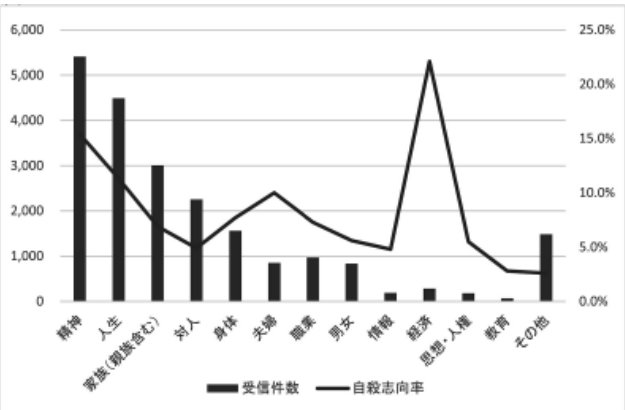


表4

内容別	受信件数	自殺志向数	自殺志向率
精神	5,413	835	15.4%
人生	4,490	509	11.3%
家族（親族含む）	3,007	207	6.9%
対人	2,255	110	4.9%
身体	1,564	121	7.7%
夫婦	852	85	10.0%
職業	973	71	7.3%
男女	837	47	5.6%
情報	188	9	4.8%
経済	285	63	22.1%
思想・人権	181	10	5.5%
教育	71	2	2.8%
その他	1,484	38	2.6%
合計	21,600	2,107	9.8%

日本語電話相談フリーダイヤル

図5

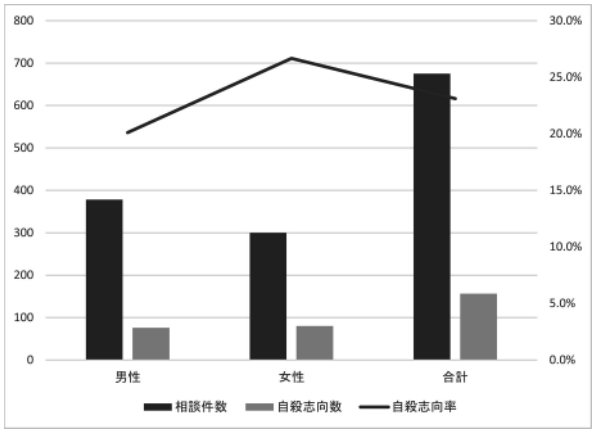


表5

	男性	女性	合計
相談件数	378	300	675
自殺志向数	76	80	156
自殺志向率	20.1%	26.7%	23.1%
平均通話時間	17分	24.7分	20.5分

心理専門相談・内容別受信件数

図6

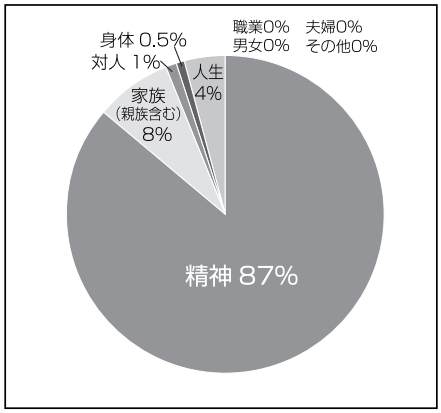


表6

項　目	受信件数	割合
精神	220	87.3%
家族（親族含む）	19	7.5%
対人	3	1.2%
身体	1	0.4%
男女	0	0.0%
人生	8	0.0%
職業		0.0%
夫婦	1	0.4%
その他	0	0.0%
合計	252	100.0%

精神保健(220件)の主な内容

生き方・孤独	66件
病気悪化・体調	11件
病気が引き起こす問題	15件
対人関係	39件
職業	12件
家族との問題	32件
話がしたい	18件

法律専門相談・内容別受信件数

図7

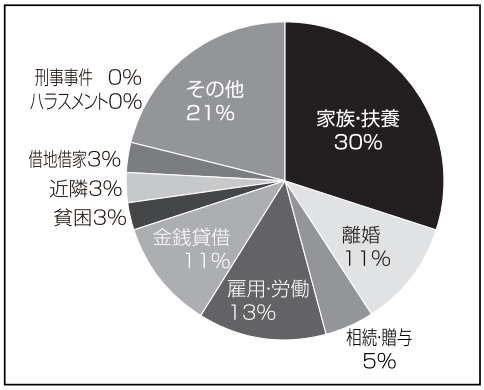


表7

項目	合　計	割合
家族・扶養	11	29.7%
離婚	4	10.8%
相続・贈与	2	5.4%
雇用・労働	5	13.5%
金銭貸借	4	10.8%
貧困	1	2.7%
近隣	1	2.7%
借地借家	1	2.7%
ハラスメント	0	0.0%
刑事事件	0	0.0%
その他	8	21.6%
合　計	37	100.0%

外国語・内容別受信件数

図8

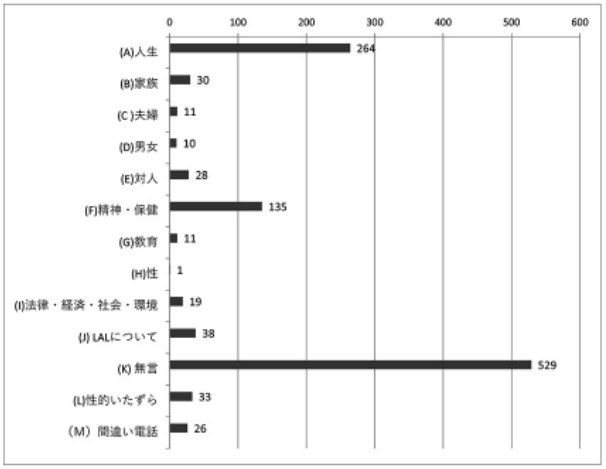


表8

	スペイン語	ポルトガル語	合　計
(A)人生	153	111	264
(B)家族	16	14	30
(C)夫婦	5	6	11
(D)男女	4	6	10
(E)対人	15	13	28
(F)精神・保健	10	125	135
(G)教育	8	3	11
(H)性	0	1	1
(I)法律・経済・社会・環境	9	10	19
(J) LALについて	15	23	38
(K) 無言	203	326	529
(L)性的いたずら	26	7	33
(M)間違い電話	17	9	26
総件数	481	654	1135

2019年度　決算報告

資金収支計算書

(自)2019年4月1日(至) 2020年3月31日　　（単位：円）

勘定科目			予算	決算	差異
事業活動による収支	収入	事業支援委員会収入	4,400,000	4,565,731	△ 165,731
		寄付金収入	7,450,000	7,477,379	△ 27,379
		経常経費補助金収入	8,000,000	8,000,000	0
		研修事業収入	1,280,000	1,298,000	△ 18,000
		共同募金配分金収入	260,000	260,000	0
		委託事業収入	947,000	935,768	11,232
		雑収入	0	25,000	△ 25,000
		受取利息配当金収入	2,100	28,237	△ 26,137
		事業活動収入計(1)	22,339,100	22,590,115	△ 251,015
	支出	人件費支出	10,321,050	10,147,883	173,167
		事業費支出	8,349,528	8,067,395	282,133
		事務費支出	3,602,000	3,234,506	367,494
		事業活動支出計(2)	22,272,578	21,449,784	822,794
		事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	66,522	1,140,331	△ 1,073,809
施設整備等による収支	収入				0
		施設整備等収入計(4)	0	0	0
	支出				0
		施設整備等支出計(5)	0	0	0
		施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	0	0	0
その他の活動による収支	収入				0
		その他の積立金取崩収入	350,000	330,000	20,000
		その他の活動による収入計(7)	350,000	330,000	20,000
	支出				0
		その他の活動支出計(8)	0	0	0
		その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	350,000	330,000	20,000
予備費支出(10)			135,290	0	135,290
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)			281,232	1,470,331	△ 1,189,099
前期末支払資金残高(12)			10,246,571	11,721,300	△ 1,474,729
当期末支払資金残高(11)+(12)			10,527,803	13,191,631	△ 2,663,828

貸借対照表

2020年3月31日現在　　（単位：円）

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	13,197,757	流動負債	6,126
現金預金	11,117,757	未払金	0
事業未収金	0	預り金	6,126
未収補助金	2,000,000	前受金	0
仮払金	80,000		
固定資産	131,218,085	負債の部合計	6,126
基本財産	100,000,000	純資産の部	
定期預金	100,000,000	基本金	100,000,000
その他の固定資産	31,218,085	第1号基本金	100,000,000
器具及び備品	613,261	国庫補助金等特別積立金	412,300
電話債券	890,644	国庫補助金等特別積立金	412,300
相談事業費積立資産	25,082,780	その他の積立金	29,714,180
国際交流積立資産	3,000,000	相談事業費積立金	25,082,780
40周年記念事業積立資産	1,000,000	国際交流積立金	3,000,000
ブラジルファンド積立資産	631,400	40周年記念事業積立金	1,000,000
		ブラジルファンド積立金	631,400
		次期繰越活動増減差額	14,283,236
		(うち当期活動増減差額)	1,061,530
		純資産の部合計	144,409,716
資産の部合計	144,415,842	負債及び純資産の部合計	144,415,842

監査報告書

社会福祉法人横浜いのちの電話における2019年度の貸借対照表ならびに収支計算書、財産目録などについて監査を実施したところ、事業の運営及び会計上、健全で、かつ公正に処理されているものと認めましたので報告します。

2020年5月18日

監事　野沢　豊㊞

監事　目黒　裕㊞

2020年度事業計画

社会福祉法人横浜いのちの電話は、2020年度も「いつでも、だれでも、どこからでも」の原点に立ち、ボランティアによる自殺予防を中心とした眠らぬ電話相談活動を継続していきます。いのちを大切にする市民（ボランティア）運動として、その輪を広げていきます。横浜いのちの電話基本理念にもとづき、次のとおり実施します。

Ⅰ．電話相談事業《電話の即時性をもって匿名を確保し、寄り添う》

1. 24時間、年中無休の日本語相談活動を継続する。
2. 日本語電話相談のうち、専門的援助を必要とするかけ手を対象に、専門相談（心理・法律）を継続する。
3. スペイン語、ポルトガル語を母国語とするかけ手を対象に外国語電話相談活動（スペイン語・ポルトガル語）を継続する。

Ⅱ．電話相談員の養成とスキル向上《ひとりの人間としての成長を図る》

1. 電話相談員を育成するために電話相談員養成研修（1年間）を実施し、適性者を認定する。
2. 電話相談員のスキルの向上の研修を実施する。
（1）日本語相談
①専門家による個人スーパービジョン（全員年1回必修）
②地区別グループ研修
③全体研修会
（2）外国語相談
①専門家による講座（年5回程度）
②個人スーパービジョン（全員年1回以上必修）
3. 研修担当者養成研修を実施し、研修担当者を育成する。
4. 相談員が活動しやすくなるよう福利厚生の充実やWeb担当システムの開発など相談環境の改善に努める。

Ⅲ．ボランティアの募集《自発的に参加するボランティアによって支えられている》

1. 日本語電話相談員、外国語電話相談員及び事業支援ボランティアを積極的に募集する。
2. 日本語電話相談については24時間体制を維持するために、また外国語相談の継続のために、マスメディア、各自治体及び他機関の協力を得る。

Ⅳ．個人・法人の自覚と責任を持ち、運動体として活動する

1. 広報活動
（1）広報誌「横浜いのちの電話」を発行する（5月・11月）。
（2）「事業報告書」を作成し、発行する（7月）。
（3）ホームページを常に更新し、充実させる。
（4）パンフレット、カード等の配布資料を作成し、有効に活用する。
（5）外国語電話相談を必要とする人たちへの広報活動及び支援者の輪を広げる。
①各種雑誌への掲載や、ホームページを用いて広報活動を積極的に行う。
②国際交流協会、各国大使館・領事館及び外国人援助団体などとの連携を深める。
（6）公開講座（ミニ講座も含む）を開催し地域への広報啓発活動を行うとともにボランティア募集活動の推進を図る。
2. 事業支援者の確保と拡大
（1）事業支援委員会のもとに設置した財政支援部会を基軸に積極的に募金活動及び企業団体への働きかけを推進する。
（2）維持会員・賛助会員の継続及び新規会員の加入に努める。
（3）法人・団体の維持会員の新規加入に努める。
（4）寄附金の拡大を図るため、寄附者に対する税額控除制度（国・県・市）対象法人としてのメリットを継続的にPRし、認可団体としての継続・維持に努める。
（5）ライオンズクラブ、ロータリークラブ、及び諸団体との連携を深め、協力を依頼する。
3. 事業支援委員会活動として、バザー、コンサート及び映画会などの実施
4. 社会福法人制度改革に伴う法人としての体制確立と適正運営の維持・強化により相談活動の改善を図る。
5. 2020年9月に迎える40周年記念事業を実施する。

Ⅴ．県・市等行政及び他機関との連携 《社会との協働》

1. 日本いのちの電話連盟及び加盟電話センターと連携、協力する。
（1）2020年度厚生労働省補助事業による自殺予防活動の一環として、毎月10日に実施される連盟主催の自殺予防フリーダイヤルへ継続参加する。
（2）研修、広報活動など加盟電話センターと連携、協力をする。
2. 毎年9月10日の「世界自殺予防デー」に合わせ、神奈川県と横浜市の自殺対策街頭キャンペーン及びJR東日本と「自殺予防いのちの電話」フリーダイヤルの駅頭告知活動を、それぞれ横浜駅等にてカード配布のPR活動を実施する。
3. 神奈川県下の川崎いのちの電話と連携を深める。
4. かながわ自殺対策会議、よこはま自殺対策ネットワーク協議会、相模原市自殺対策協議会、秦野市自殺対策推進委員会、湯河原町自殺対策推進協議会のメンバーとして、神奈川県・横浜市・相模原市・他の市町村及び関連機関との連携を深め、自殺防止活動に参画し、寄与する。
5. 相模原市からの自殺予防専門電話相談“いきるホットライン”の委託事業を9月まで継続する。
6. エイズ文化フォーラムinよこはまに組織委員として参加する。
7. 外国語電話相談について
   ① 浜松いのちの電話の外国語電話相談との交流を深める。
   ② リニューアルを行ったホームページにより一層の周知を図る。
   ③ 南米出身者のコミュニテイーや職業紹介機関を通じてPRの促進を図る。

以上

資金収支予算書

自：２０２０年４月１日　至：２０２１年３月３１日

（単位：円）

勘定科目			予算
事業活動による収支	収入	事業支援委員会収入	5,193,000
		寄付金収入	6,760,000
		経常経費補助金収入	8,000,000
		研修事業費収入	961,000
		共同募金配分金収入	0
		受託事業収入	510,000
		雑収入	465,000
		受取利息配当金収入	1,000
		事業活動収入計(1)	21,890,000
	支出	人件費支出	11,182,000
		事業費支出	12,186,000
		事務費支出	3,449,000
		事業活動支出計(2)	26,817,000
	事業活動資金収支差額(3)=(1)−(2)		△ 4,927,000
施設整備等による収支	収入		
		施設整備等収入計(4)	0
	支出		
		施設整備等支出計(5)	0
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)−(5)		0
その他の活動による収支	収入	事業区分間繰入金収入	2,000,000
		拠点区分間繰入金収入	2,655,000
		その他の積立金取崩収入	5,300,000
		その他の活動による収入計(7)	9,955,000
	支出	事業区分間繰入金支出	2,000,000
		拠点区分間繰入金支出	2,645,000
		その他の活動支出計(8)	4,645,000
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)−(8)		5,310,000
予備費支出(10)			0
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)−(10)			383,000

前期末支払資金残高(12)	13,191,631
当期末支払資金残高(11)+(12)	13,574,631

法人組織

法人役員（2020年6月10日現在）

理事長	松橋　秀之	前　社会福祉法人日本水上学園 園長
理　事	岩本　　満	横浜いのちの電話相談員委員会委員長
	笠井　政記	横浜いのちの電話 事業支援委員会委員長
	十川いづみ	横浜いのちの電話 研修委員会委員長
	田口　　努	公益財団法人日本ＹＭＣＡ同盟 総主事
	千木良　正	小長井・千木良・渡邊法律事務所 弁護士
	西﨑　猛之	社会福祉法人鎌倉静養館理事長
	藤井ルッチ	横浜いのちの電話外国語相談総会議長・コーディネーター
	堀木　一男	横浜いのちの電話 広報委員会委員長
監　事	野沢　　豊	元　日本埠頭倉庫株式会社　常勤監査役
	目黒　　裕	社会福祉法人大和しらかし会大和市障害福祉センター松風園施設長
評議会	石黒　敬史	社会福祉法人神奈川県社会福祉協議会常務理事
	井上　　力	保土ヶ谷区民生委員児童委員協議会 会長
	佐久間てる美	神奈川県中央児童相談所 所長
	新堀由美子	男女共同参画センター横浜 相談センター長
	竹内　直樹	医療法人横浜いずみ会開花館クリニック 副院長
	永井　　撤	首都大学東京都市教養学部 教授
	濱田　壮久	カトリック末吉町教会 主任司祭
	平野　孝夫	株式会社オリマツ代表取締役社長
	政岡　弘道	宗教法人眞光寺代表役員（住職）
	山田　正夫	神奈川県精神保健福祉センター 所長

法人会議

理 事 会　第1回　2019年　5月22日
　　第2回　2019年　6月21日
　　第3回　2019年　10月21日
　　第4回　2020年　1月29日
　　第5回　2020年　3月26日

評議員会　定 時　2019年　6月10日

苦情解決制度についてのお知らせ

社会福祉法人横浜いのちの電話が提供するサービスに関わる
苦情に適切に対応するため、苦情解決の仕組みを整えています。

苦情の受付　横浜いのちの電話事務局

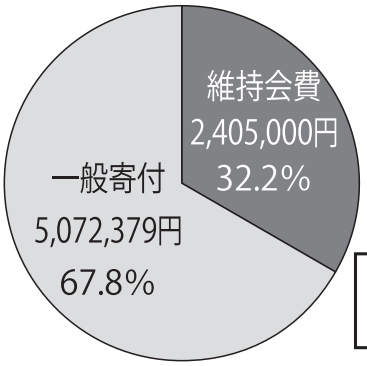
第三者委員　小川　恒子（学識経験者）
　　植田　　薫（弁護士）
　　岩本　弥生（外国語相談）
　　永井　　撤（評議員）
　　松原　康雄（学識経験者）

2019年度感謝報告

横浜いのちの電話は、多くの皆様方の心温まるご芳志により、活動を続けることができています。昨年度も多くの方々や団体、法人などの皆様からご寄付をいただきました。一同、感謝をもって、ここにご報告をさせていただきます。ありがとうございました。

尚、ご芳名につきましては、万全の注意を払ってはおりますが、万が一記載もれや誤字脱字がございました場合は、畏れ入りますが、事務局まで、ご一報いただけますと幸いです。また、個人情報保護上、今回は事前に掲載をご希望なされない方のお名前は掲載いたしておりません。今後、お名前の記載をご希望なされない場合もご一報のほどよろしくお願いいたします。敬称は省略させていただいておりますこと、ご容赦願います。

一般寄付　487件
個人　398件
団体　50件
法人　39件



維持会費　417件
個人　385件
団体　8件
法人　24件

寄附金収入合計
7,477,379円

◎維持会費（個人）

◆ア
赤池　典子
荒井　　献
飯野　満代
石塚　博子
伊藤　純子
岩澤　敏一
植田　雅子
海老原弘子
太田　桂子
大堀　セツ子
小川　恒子
小幡　佳子
春日　久栄
加藤　葉子
上村千代子
北　孝史
清野　陽子
◆ケ
小林　敏男
小山　裕子
坂本　良子
佐渡美佐子
島津　直美
白川　啓子
鈴木　リツ
◆ソ
高梨　安子
高橋　吉巳
田中　巌
田村　紀子
◆テ
冨田　修一
長瀬　陽子
中村　和彦
西嶌　宣雄
野中多津子
相沢　匡
明瀬カズミ
新井　裕子
家里　敦子
石附　峰子
伊藤　文子
岩下由紀子
内田恵美子
江間　敦子
大竹　朋子
岡崎　学
小川由起子
小原　勉
片平光知子
金子　ユミ
加山　潤一
喜多村光江
◆ク
毛塚　篤子
小林　信子
近藤　繁子
桜本由実子
佐野　知子
清水　嵩夫
陳岡　啓子
角野　友美
十川いづみ
高野　晴子
滝口　久恵
田中久美子
田村　美子
手塚　正子
鳥海　薫
中　園子
中谷　直美
西谷　大介
野畑　勢津
相原　静子
秋山　英代
有田モト子
池田　淑美
出雲　朝子
伊藤　まさ子
岩橋　圭子
打田真理子
◆オ
大塚由香里
岡田　信子
大川原勝子
◆カ
片山功仁慧
金子佐智子
川崎みどり
木原　サエ
草本　和子
◆コ
小林　真理
◆サ
指田　京子
澤野　信子
志村　和子
◆ス
◆セ
外田　博子
髙橋　恵子
滝沢　潔
田中三一子
◆チ
寺井　政江
◆ナ
永田千鶴子
那須　泰治
◆ノ
野間さやか
青木　英人
阿久津久枝
有馬日出子
井下原百合子
五十畑誠子
伊藤美華子
岩橋　史明
内山　理恵
大江　美香
大友　順子
岡田　美佐
荻沼　敦子
鏡原　博子
加藤　征三
金子　由紀
河内ゆう子
木原由紀子
楠本　泰子
小出　太美夫
小林　葉子
斎藤　悦子
佐藤喜美恵
◆シ
下会所一恵
椙村　千津
関川　昌子
◆タ
高橋知江子
竹内　精子
谷川　雅恵
長　一男
◆ト
永井　嵜朗
仲手川徳幸
南宮　一子
野越　美香
野村　重子
青木　佳子
浅岡いつ子
安蔵　富江
石井　初夫
板坂　光明
井上　順子
岩本　満
潤井眞理子
大久保規矩夫
大貫まち子
岡本理津子
奥田　紀子
柿沢　純江
加藤　浩子
加野　俊恵
◆キ
木村　和子
工藤　幸子
小菅　啓子
小林　理枝
齋藤荘之助
佐藤　定雄
茂田　悦子
下村　厚子
鈴木江美子
関根　恵子
平　ふじほ
高橋久仁江
竹内　直樹
谷沢　栄司
長南　康子
東島　昌子
永井千恵子
中野　友子
◆ニ
野沢　純子
◆ハ
青田　雅子
安達　理恵
安藤実菜子
石井　保弘
市村　毅
井上美佐子
◆ウ
◆エ
大久保洋子
大畑みどり
岡本　恵子
越智　雪江
加行　尚
加藤　博子
鎌田　麻子
紀井　悦子
木村　弘子
黒澤美貴子
児玉　王子
小松　智子
斎藤　たえ
佐藤　光江
重広佐伎子
下村　秀子
鈴木　初子
関　ひさ
高島千恵子
高橋　純子
竹内　弥生
種蔵　宜子
◆ツ
徳永　敬子
永井　撤
永野　肇
新見　泰代
野沢　豊
芳賀　朋子
青野　幸子
天野　明子
◆イ
石川　充子
糸魚川規子
猪俣　清子
植木あい子
江口チエ子
大久保芳子
大原英里子
岡本　昂
小貫　洋子
樫村かおり
加藤　文男
上川　定子
菊地　綾子
木村　雅恵
黒部　一允
小林久美子
小森　詳宏
榊原　隆太
佐藤有見子
重宗美智子
庄司　恵子
鈴木　正子
瀬田　義雄
高須　あい
高橋　恒子
竹谷なつみ
田原　景子
津田　道夫
土志田康浩
中島　博明
中野　竜子
新村　寛子
野田　政則
橋口奈保子
青山しのぶ
雨宮　里美
飯塚由紀子
石川　幸夫
伊藤　君恵
今井　迪恵
植木　向子
江口　洋子
大須賀靖子
大平みちよ
岡本　連三
小畑　克
春日智恵美
加藤眞知子
上地　操
木曽美沙子
木本美枝子
桒原　曠子
小林　絹代
小山　かよ
坂齋三枝子
佐藤よし子
島田　裕子
東海林　崇
鈴木　祐司
芹澤由紀子
髙田　耕多
高橋　ゆか
田代　良一
田宮　繁子
綱島　和子
栃原比比奈
中島冨美子
中林　淳子
西﨑　猛之
野田　良信
長谷川寿美子

服部千枝子　花立　悦治　花村　節子　馬場　泰子　Pubill Puig Xavier　林　司　原崎　郁夫　原　寛子
治田　哲之　◆ヒ　日笠　宏　東　大策　樋口　純子　久野　高雄　菱山　米子　飛弾野育子
百武　紀子　平尾　良子　平城　波江　平嶋　丸美　平塚　幸子　平根　寛　平野　孝夫　蛭田　典子
広越　昭紀　広庭　一孝　◆フ　深佐　隆英　深澤　祥江　深澤　良子　福永　牧子　福本　秀子
福山　笑子　藤井　征子　藤崎　孝子　藤田　妙子　藤田　久子　藤永美恵子　藤野　英明　藤吉　康司
藤井　明子　古川恵美子　古川　淳一　古谷　大輔　◆ホ　星野　敦子　堀田　礼子　堀木　一男
本宿　怜子　◆マ　前田いづみ　増田　雅子　松石　裕子　松浦恵美子　松尾恵津子　松岡健二郎
松木　英雄　松下　寿子　松田　文子　松橋　秀之　◆ミ　三島　洋子　溝幡三紀子　三橋千代子
三橋満里子　南　慶子　峯岸　俊夫　峯岸　文子　簑島　典代　宮坂　洋子　宮嶋　久枝　宮治　容子
宮田　和恵　◆ム　向野　和雄　村木　順子　村木　正子　◆モ　持川　光代　森口　弥生
森　敬子　森田　茂實　森原　久子　森　優美　◆ヤ　柳下　修　八塚　住子　柳村　典子
山口　明子　山口いね子　山口　奈巳　山口　善弘　山崎恵美子　山里　恒子　山田千賀子　山田真由美
山田　理子　山田　洋子　山本　きく　山元　桂子　◆ユ　結城由美子　弓削寿美子　◆ヨ
吉岡　喜子　吉住真理子　吉田佳南子　吉田　常美　吉田よし子　吉野　典子　吉味　徳子　◆ワ
若尾　正子　若林　園子　渡辺　詢子　渡辺はるみ　渡辺　静江

◎維持会費（法人）

安楽寺　(株)一幸堂　圓光院　京浜急行電鉄(株)　香象院　廣徳寺　光明院　国分寺
金蔵院　西善院　宗教法人真照寺　荘厳寺　相鉄ローゼン(株)　増徳院　(株)高島屋横浜店
(株)デザインコンビビア　東昌寺　東漸寺　(株)ネピロード　古河電池販売(株)　(株)マルヤホーム　(有)京横興発
(株)横浜銀行本店　(社)横浜市医師会

◎維持会費（団体）

ｶﾄﾘｯｸ国際協働会　神奈川県神社庁　神奈川県精神保健福祉協会　神奈川県精神科病院協会　鎌倉恩寵教会　杉山神社幼稚園
蒔田教会　ﾚﾃﾞﾝﾌﾟﾄﾘｽﾁﾝ修道院

◎一般寄付（個人）

◆ア　相沢　匡　青木　英人　青野　幸子　青山しのぶ　秋山　英代　浅岡いつ子　安達　理恵
雨宮　里美　新井　裕子　荒川　節子　有田モト子　安藤浩美　◆イ　飯塚由紀子　池田　敦子
井下原百合子　石井　初夫　石井　保弘　石川　充子　石川　幸夫　石塚　博子　石附　峰子　五十畑誠子
板坂　光明　市村　毅　井上美佐子　岩崎美奈子　岩澤　敏一　岩橋　圭子　岩橋　史明　岩本　満
岩本　弥生　◆ウ　植木あい子　植田　薫　植田　茂子　植田　雅子　内田恵美子　打田真理子
内山　理恵　浦川富二子　潤井眞理子　◆エ　江口　洋子　海老原弘子　江渕　武雄　江間　敦子
◆オ　大江　美香　大久保　明　大久保宏子　大久保洋子　大須賀靖子　大竹　朋子　大貫まち子
大畑みどり　大原英里子　大平みちよ　大堀セツ子　大輪　靖宏　岡田　信子　小川由起子　荻原　京子
奥田　紀子　落越　道彦　越智　雪江　尾中　孝子　小貫　洋子　小畑　克　小原　勉　◆カ
柿沢　純江　加行　尚　春日　久栄　片山功仁慧　加藤　明美　加藤　浩子　加藤　葉子　金子　由紀
上川　定子　亀岡　大造　川﨑　智晴　川崎みどり　◆キ　菊地　綾子　岸　厚子　木曽美沙子
喜多村光江　木塚　啓子　木原由紀子　木村　和子　木村　弘子　木村　雅恵　◆ク　楠本　泰子
工藤　幸子　◆コ　小出太美夫　香山　一江　小林　絹代　小林　信子　小林冨美子　小林　葉子
小森　詳宏　近藤　信二　◆サ　材木　明子　齋藤　未希　坂齋三枝子　桜本由実子　佐々木伊奈子
佐治恭仁子　指田　文夫　佐藤　鉄郎　佐藤有見子　佐藤よし子　佐渡美佐子　佐野　知子　◆シ
重宗美智子　島津　直美　下山　弘至　庄司　恵子　陳岡　啓子　◆ス　末吉　玲子　椙村　千津
杉山　孝博　鈴木江美子　鈴木　祐司　鈴木　リツ　◆セ　瀬尾　幸男　関川　昌子　関　ひさ
瀬田　義雄　◆タ　高石　順子　高島千恵子　高瀬　道子　髙田　耕多　高橋久仁江　髙橋　恵子
高橋　恒子　高橋美智子　高橋　吉巳　高原　将光　滝口　久恵　滝沢　潔　竹内　直樹　竹野内恭子
太細　千賀　舘　東子　田中　巌　田中久美子　田中　英雄　田中三一子　田中　洋子　◆チ
長南　康子　◆ツ　辻川　篤　綱島　和子　坪内　重子　◆テ　手塚　正子　寺井　政江
◆ト　外村　敬子　富田　重次　冨田　修一　◆ナ　永井　嵩朗　中尾久美子　中川　董子
中岸真由美　中島冨美子　中須安見子　長瀬　陽子　永田千鶴子　仲手川徳幸　中林　淳子　中村　和彦
那須　泰治　南宮　一子　◆ニ　西川　綾子　西谷　大介　丹羽　慧子　◆ノ　野沢　純子
野沢　豊　野畑　勢津　◆ハ　橋口奈保子　花里　典広　花立　悦治　花村　節子　馬場　泰子
Pubill Puig Xavier　濱田　静子　原田　勝男　原　高雄　茨田　孝幸　原　寛子　◆ヒ　東　大策
久野　高雄　菱山　米子　百武　紀子　平尾　良子　平根　寛　平野　孝夫　平野　孝使　平本　淳一
広越　昭紀　広庭　一孝　◆フ　深澤　祥江　福山　笑子　福山　清蔵　藤吉　康司　藤井　明子
古川恵美子　古川　淳一　古谷　英之　古谷　大輔　◆ホ　堀田　礼子　◆マ　前田いづみ
牧田きみ子　町田　浩　松浦恵美子　松田　英幸　松田　文子　松橋　秀之　松村　清司　◆ミ
水谷　透　三橋千代子　三橋満里子　三宅トキ子　三宅　玲子　宮坂　宏　宮嶋　久枝　宮田　和恵
◆ム　向野　和雄　村松　静子　◆メ　目黒　裕　◆モ　持川　光代　森口　弥生
森　敬子　森　優美　◆ヤ　屋嘉部路代　矢谷安紀子　八塚　住子　山口　明子　山口いね子
山口　幸子　山口　善弘　山里　恒子　山田小夜子　山田真由美　山本　きく　山元　桂子　◆ヨ
横田カツ子　吉田よし子　吉味　徳子　米田　和彦　◆ワ　渡辺　詢子　渡辺　弘尊　渡辺真紀子
渡辺　静江

◎一般寄付（法人）

(株)アーバン企画開発　基督兄弟団横浜教会　汲沢電設(有)　けやきの森病院　香 象 院　金 蔵 院　西 善 院
三精会汐入メンタルクリニック　清水ヶ丘教会　宗教法人真照寺　一般社団法人 生命保険協会　増 徳 院　(株)大神
東 漸 寺　ハニーミルク(株)　(有)京横興発　学校法人横浜学院　蓮 花 院　(有)ギガ商会

◎一般寄付（団体）

厚木幼稚園　栄光学園愛の運動委員会　霞ヶ丘教会　ｶﾄﾘｯｸ鷺沼教会　ｶﾄﾘｯｸ藤沢教会福祉部　神奈川県看護協会 事務局
鎌倉雪ノ下教会　関東学院六浦中学高校　関東学院中学高校　鵠沼めぐみﾙｰﾃﾙ教会婦人会　ｹﾍﾞｯｸｶﾘﾀｽ修道女会　国際ｿﾛﾌﾟﾁﾐｽﾄ横浜西
桜ヶ丘幼稚園　篠原教会　新横浜教会　ｷﾘｽﾄ教教育研究会　捜真女学校同窓会PTA　宗泉寺　茅ヶ崎恵泉教会　つながる募金
日本ｷﾘｽﾄ教団逗子教会　日本基督教団田浦教会　日本基督教団田園江田教会　日本基督教団横浜港南台教会　日本ﾎｰﾘﾈｽ教団
ﾌｪﾘｽ女学院中学校高等学校　藤沢教会　藤沢北教会　藤沢北教会婦人会　保土ケ谷ｶﾄﾘｯｸ教会　翠ヶ丘教会　紅葉坂教会
横須賀学院　横浜海岸教会　横浜指路教会　横浜磯子教会　横浜英和学院　横浜菊名教会壮年会　横浜共立学園
横浜雙葉中学高校　横浜南ﾛｰﾀﾘｰｸﾗﾌﾞ　ﾗｲｵﾝｽﾞｸﾗﾌﾞ 国際協会330-B地区　ﾚﾃﾞﾝﾌﾟﾄﾘｽﾁﾝ修道院　六角橋教会

＜以上、敬称略＞

2019事業支援委員会　感謝録

社会福祉法人横浜いのちの電話の一組織として、バザー・コンサートなどの支援会活動を行いました。その収益を横浜いのちの電話の相談活動の運営資金として協力することができました。活動を支えてくださった多くの方々・団体に感謝いたします。

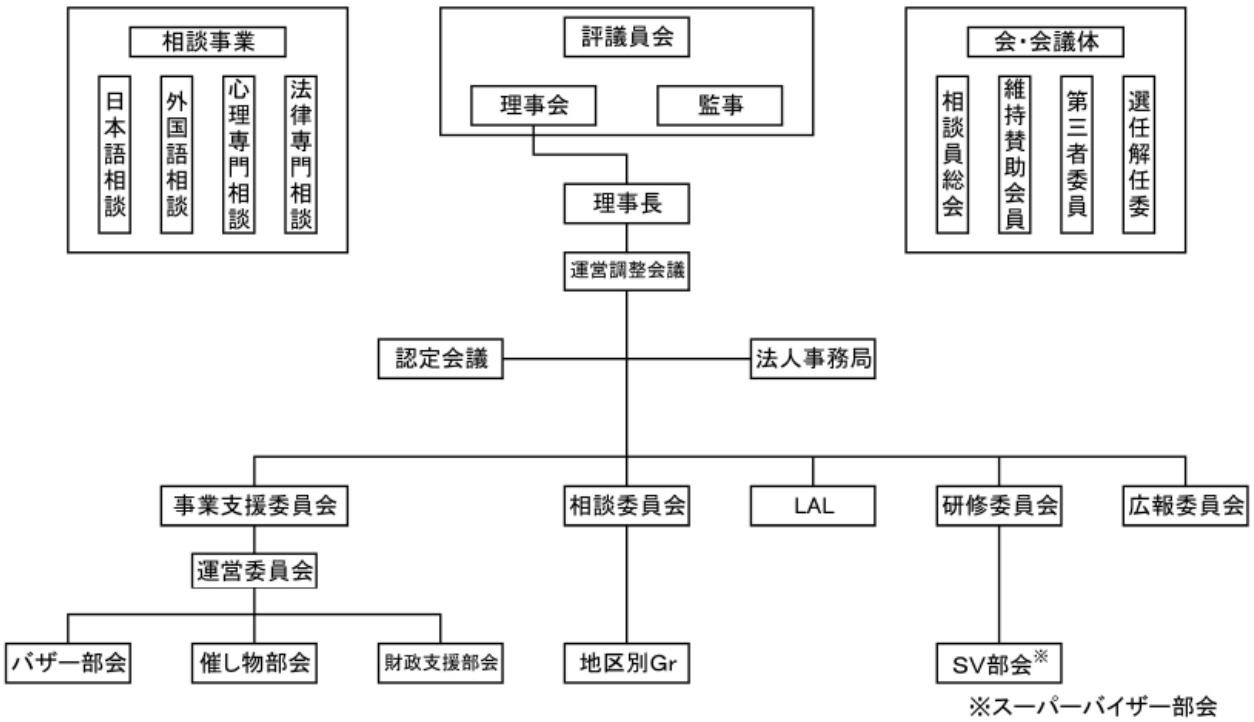
秋のコンサート・春の映画会　広告協賛企業

難波学園横浜調理師専門学校
（株）ロイヤルホールヨコハマ
（株）ガトーよこはま
（株）つま正
戸越税理士法人
（株）白楽花園
（株）メリー
（株）有隣堂
（株）三彩社
（株）オリマツ
（有）ヨネヤマプランテイション
センター北ねがみクリニック
（株）高千穂
（有）光越商事
社会福祉法人 鎌倉静養館
カサイ企画
横浜醤油（株）
（株）モトマチ
（株）着道楽
（株）LITALICO

ご協力いただいたバザー会場

1	4月28日　カトリック雪の下教会	9	10月26日　神戸女学院同窓会・東京
2	4月29日　日本基督教団 鎌倉恩寵教会	10	10月26日　鎌倉婦人子供会館
3	4月29日　日本基督教団 横浜港南台教会	11	10月26･27日 カトリック山手教会
4	5月31日　湘南YWCA（ミカエル教会）	12	10月27日　カトリック菊名教会
5	6月　2日　カトリック渋谷教会	13	11月　4日　日本基督教団 逗子教会
6	10月　5日　興和台団地バザー	14	11月15日　湘南YWCA（ミカエル教会）
7	10月18日　神戸女学院同窓会・横浜	15	11月24日　カトリック二俣川教会（ミニバザー）
8	10月24日　カトリック二俣川教会		

組織図


相談事業
日本語相談
外国語相談
心理専門相談
法律専門相談
評議員会
理事会
監事
会・会議体
相談員総会
維持賛助会員
第三者委員
選任解任委
理事長
運営調整会議
認定会議
法人事務局
事業支援委員会
相談委員会
LAL
研修委員会
広報委員会
運営委員会
バザー部会
催し物部会
財政支援部会
地区別Gr
SV部会※
※スーパーバイザー部会

支援会ボランティア・資金ボランティアで
ご協力いただけませんか。

お問合せ先　事務局　045-333-6163

支援会ボランティア

　横浜いのちの電話の電話相談活動を資金面で支える、支援会ボランティアには、手作り品の製作に励むバザー部会と、映画やコンサートの企画立案をする催し物部会があります。両部会とも、仲間と楽しみながら自分のできることで社会貢献できるのが喜びになっています。

資金ボランティア（寄付のお願い）

　眠らぬダイヤルとして２４時間体制で電話相談を続けていくためには、運営資金が必要です。維持会員または賛助会員になって資金面でのご協力をお願いします。皆様の温かいご支援をお待ちしています。ご寄付には税制上の優遇処置があります。

○維持会員（毎年一定額を援助して下さる方）

　個人　年間１口　3,０００円　5,０００円　１０,０００円

　法人　年間１口　１０,０００円　（何口でも可）

○賛助会員（随時、任意の額を援助して下さる方）

　振込先　郵便局　００２４０－３－１５１９１

　　社会福祉法人横浜いのちの電話

遺贈について

　ご遺産や相続された遺産を、横浜いのちの電話のために寄付したいとのお申し出が増えております。手続きなどのご相談は事務局までご連絡ください。なお、ご寄付に対しては相続税法上の優遇措置（寄付金控除）が受けられます。

＜表紙の絵について作者の言葉＞

シュウメイギク（キンポウゲ科）

　新型コロナの影響で、社会とつながっていない時間が長くなっている中で、頑張っている人を応援しながら安全安心を待ち望んでいます。「秋明菊」という名は、強い太陽の光が和らぎ始めると咲くからです。花言葉は「忍耐」です。（M. K）

いのちの電話は
いつもあなたのそばにいます
一人で悩まずにご相談ください
24時間・年中無休の眠らぬ電話です
名前をいう必要はありません
相談内容の秘密は必ず守ります

日本語電話相談

045－335－4343

外国語電話相談

0120－66－2477 スペイン語

0120－66－2488 ポルトガル語

横浜いのちの電話　2019年度事業報告

発行日　2020年7月
発行者　松橋秀之
発行所　社会福祉法人横浜いのちの電話

〒240-8691
横浜市日本郵便保土ヶ谷支店私書箱32号
事 務 局　Tel 045-333-6163
fax 045-332-5673
http://www.yind.jp/

この報告書は神奈川県共同募金からの配分金で作成しました。